

2017年PDCAサイクル実施状況

\*ワーキンググループ以下WGとする。

| WG名        | 院内がん登録  | 化学療法  | 緩和ケア  | 医師会などとの地域連携  | がん相談支援  | 医療指標およびがん診療委員会ホームページ教育研修   | クリニカルパス   | 放射線  |
|------------|---|---|---|--|---|--|---|--|
| 活動計画       | <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年症例の登録及び提出</li> <li>全国がん登録への協力（廻り調査など）</li> <li>予後支援事業への協力</li> <li>院内がん登録の状況をホームページにて情報開示をおこなうとともに随時更新していく。</li> <li>全国がん登録登録様式に沿った2016年症例の作成</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん化学療法を受けている患者家族への多職種間の連携による継続支援</li> <li>外来にて経口抗がん薬を開始する患者への継続支援</li> <li>レジメン審査委員会の定期開催</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催</li> <li>地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催・事例検討会開催</li> <li>院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療連携協議会の定期的開催</li> <li>医師会との症例検討会の実施</li> <li>開業医参加によるキャンサーボードの定期開催（呼吸器・消化器・外科カンファレンス）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者情報交換会「たんぼぼ会」の定期開催</li> <li>がん患者会初ワーク香川への協力</li> <li>がん相談員指導者研修への参加およびがん相談員研修・交流会への参加（2回/年）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者のニーズに対応した情報の適宜公開</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん（大腸・胃）のパスについて地域医療機関との連携を図る</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線治療に関する相談への対応（治療内容、副作用など）</li> <li>かかりつけ医などからの放射線診断依頼に対する協力</li> </ul>              |
| 活動内容       | <ul style="list-style-type: none"> <li>国へ提出済み症例2015年症例の受け入れ状況のグラフを作成し、ホームページに公開。（2017年10月スミ）</li> <li>院内がん登録2016年症例を8月までに完成し、国立がんセンターへ届出（8/7提出スミ）</li> <li>廻り調査・予後支援調査に参加する。（2017年12月に廻り調査2013年症例、7月予後支援調査（2011、2013症例）提出スミ）</li> <li>全国登録へ2016年症例の届出（2017年8月スミ）</li> </ul> | <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*化学療法開始時、治療変更時、専門職による情報提供として服薬指導、栄養指導、口腔ケアを実施した。また、病棟・外来看護師を中心に副作用マネジメントできる様子ががん化学療法看護認定看護師が情報集約し、支援した。</li> <li>*治療中の患者に対しては、服薬管理や有害事象を含めた症状に対し、多職種で関わり、予防と症状軽減に努めた。</li> <li>*外来化学療法室で治療を受ける患者に対し、がん専門薬剤師も関わり、薬剤説明、有害事象のマネジメントを看護師とともに行った。また、有害事象に対し、主治医へ薬剤の処方提案を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催</li> <li>平成28年9月2・3日実施（11名参加うち2名は院外）</li> <li>地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催・事例検討会開催</li> <li>平成30年1月25日 緩和ケア勉強会実施</li> <li>アドバンス・ケア・プランニング「自分らしく生きる」を支える意思決定支援 京都大学医学部附属病院 竹之内 紗弥香先生 参加者 66名</li> <li>平成29年9月30日 事例検討会実施</li> <li>院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催</li> <li>平成29年9月1日 「倫理」研修会実施</li> <li>平成29年11月10日 「コミュニケーションスキルを学ぶ」研修会実施</li> <li>平成29年12月9日 「がん医療に携わる看護師に対する緩和ケア教室を開催</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>医師会との症例検討会実施 平成29年5月12日実施 「大腸癌 新診療ガイドライン」 外科 吉田 修医師 「胃がんリスク層別化検査～ABC 検診2016年度改訂版について～」 内科 遠藤 日登美医師</li> <li>平成29年6月9日実施 「当院における超高齢者に発症した泌尿器癌の現状」 泌尿器科 上松 克利医師</li> <li>平成29年10月13日実施 「当院における肺がん治療の現状、治療後経過について」 内科 吉田 泰成医師 「経皮的腎腫瘍生検が診断に有用であった左腎細胞癌と膀胱癌の同時重複癌の一例」 泌尿器科 小田 浩司医師</li> <li>平成30年1月12日実施 「当院における直腸内分沁腫瘍の取り扱い」 内科 秋田 光洋医師</li> <li>三豊消化器癌症例連絡会 「早期胃がん術後3ヶ月でVirchowリンパ節腫脹を認めた一例」 外科 山本 澄治医師 「噴門側胃切除観音開き法再建」 外科 久保 雅俊医師</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者情報交換会 「たんぼぼ会」実施 平成29年5月9日 実施</li> <li>「リンパ浮腫について」 緩和ケア認定看護師 和田 阿佑美</li> <li>平成29年8月8日 実施 「抗がん剤治療について」 がん化学療法認定看護師 伊加 由美 「抗がん剤の副作用について」 がん薬物療法認定薬剤師 原田 典和</li> <li>平成29年11月14日 実施 「笑顔で食生活をすごしたい あなたへ」 管理栄養士 芋坂 枝織</li> <li>平成29年2月13日 実施 「がんの痛みの緩和について」 緩和ケア課部長 細川 敦之 医師</li> </ul> <p>*来年度は曜日を水曜日に変更予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルのホームページ公開（2017年9月）</li> <li>2015年院内がん登録情報のホームページ公開（2017年10月）</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>がんステージングのためのCT、PET-CTの撮影及び診断（遠隔による診断も含む）</li> <li>放射線治療の実施（他院治療のみにも対応）</li> <li>病棟と連携し、放射線治療・化学療法中の口腔ケアの導入を開始</li> </ul> |  |
| ミーティング開催状況 | 毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告   | <ul style="list-style-type: none"> <li>原則月1回</li> <li>毎月第2木曜日に、がん化学療法看護認定看護師から報告</li> <li>毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週火曜日に緩和ケアチームカンファレンスを開催し、チームで介入している患者の情報共有・問題解決に向けての計画を立案した。</li> <li>毎月第2木曜日のがん診療委員会では、緩和ケアWGの活動状況を報告するとともに、研修会等の案内を行った。</li> </ul>   | 毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告  | 毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告   | 毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告  | 毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告   | 毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告  |
| 今後の課題改善点   | <p>提出期限の短縮化がおこなわれている上に、今までになかった情報公開、他の調査への協力が生じており、それに対して迅速に対応する必要がある。情報公開については、情報を更新しつつ、適宜、情報項目を増やせるようにしていく。全国がん登録開始による登録様式の変更など、随時内容を把握し、迅速に対応する必要がある。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>経口抗がん薬（TS-1、ゼロラゲ）治療中の患者に対して、各科で診療前に有害事象チェック表を用いて評価を行い、必要時、主治医報告、各専門職が介入するケースもあるが、確実にスクリーニング後対応できているか確認する必要がある。また、各科外来看護師の知識向上に努める必要がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケアチームと病棟スタッフや多職種によるカンファレンスを継続し、症状緩和に努めているが、カンファレンスに患者・家族が参加できるような体制を整える必要がある。</li> <li>緩和ケアの専門家への橋渡しが必要に実現できるよう、リンクナース育成が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他医療機関と顔の見える関係づくりに力を入れ、互いに信頼できるよりよい連携を行えるようにする。</li> <li>ホームページ等を活用、見直しし、より分かりやすい広報活動を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者、家族に対してたんぼぼ会を定期的に開催しているが、参加人数は10名前後である。今後、開催の内容を検討するとともに、外来、病棟への周知の他に、広報誌への記載など周知方法の追加を検討していく</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん拠点病院としての情報の提示が必要に応じての提示のみである。今後は、随時各項目に即した更新、追加ができるように掲載内容の見直し、検討が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>連携医療機関は、徐々に増加しているが、連携パス実施に至っていない。連携パスについての周知が不十分のため、今後は、周知および実施の働きかけをおこなっていく</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線治療の副作用について患者・家族への周知はできているが、具体的な介入事例は発生していない。今後はいかに早期に発見・介入できるか検討が必要である。</li> </ul> |
| 2018年度の目標  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新規登録・調査提出期限を厳守し、必要に応じて、院内がん登録統計情報更新をおこなう。</li> <li>登録の精度向上のため、必要に応じた研修受講に努める</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き化学療法を受けている患者家族への継続支援</li> <li>外来にて経口抗がん薬開始後の患者への継続した支援</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な研修会や事例検討会は引き続き実施するが、それ以外に一般市民に対する市民公開講座の開催も計画する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>顔の見える連携の強化</li> <li>医師会との症例検討会、地域医療連携協議会の開催の続行</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>たんぼぼ会の定期開催と参加人数の確保</li> <li>医師会との症例検討会、地域医療連携協議会の開催の続行</li> <li>がん相談指導員の育成と研修会参加などを行い、相談員の質の向上を図る</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者に対する治験情報や実施状況の掲示と随時更新</li> <li>上記以外のがん治療などの情報の公開、随時更新</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各医療機関との連携を図る際のパスの導入方法を検討し、パスを使った連携の件数の増加をめざす</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>治療の副作用へのスクリーニングと対応手順の確立</li> </ul>  |